



非ピリン系

解熱鎮痛薬

アパトック錠

頭痛・生理痛・発熱に

●頭痛・生理痛などの痛みや発熱に効果をあらわすイブプロフェンを配合しています。

●服用しやすい小粒の糖衣錠です。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15歳未満の小児。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用時は飲酒しないでください

4. 長期連用しないでください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師にご相談ください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 高齢者。
- (5) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (7) 次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
- (8) 次の病気にかかったことのある人。
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病



2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師にご相談ください

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、下痢、胃部不快感、口内炎、便秘
精神神経系	めまい
そ の 他	目のかすみ、耳なり、むくみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症 状 の 名 称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。

症 状 の 名 称	症 状
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ 等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜 にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる) 等があらわれる。
腎 障 害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴っ て息苦しさ、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿 等があらわれる。
無 菌 性 髄 膜 炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、 悪心・嘔吐等の症状があらわれる。(このよう な症状は、特に全身性エリテマトーデス又は 混合性結合組織病の治療を受けている人で多 く報告されている。)
ぜ ん そ く	

(2) 5～6回服用しても症状がよくなる場合

〔効 能〕

- 頭痛・月経痛(生理痛)・歯痛・咽喉痛・関節痛・筋肉痛・神経痛・腰痛・肩こり痛・
抜歯後の疼痛・打撲痛・耳痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

〔用法・用量〕

下記の1回服用量をなるべく空腹時をさけて服用します。服用間隔は4時間以上おいてください。

年 齢	1 回服用量	1 日服用回数
大人(15才以上)	2 錠	3 回を限度とします
15才未満	服用しないでください	

〈用法・用量に関連する注意〉

(1) 定められた用法・用量を厳守してください。

(2) 錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部
を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り
出してお飲みください。(誤ってそのまま飲み込ん
だりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故に
つながります。)



〔成分・分量と働き〕 2錠中

成 分	分 量	働 き
イブプロフェン	150mg	頭痛、生理痛、歯痛等の鎮痛。発熱時の解熱。

添加物として、CMC、セルロース、トウモロコシデンプン、乳糖、ヒドロキシ
プロピルセルロース、無水ケイ酸、ショ糖脂肪酸エステル、ヒドロキシプロ
ピルメチルセルロース、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリ
コール、ポリビニルアルコール(部分けん化物)、リン酸水素Ca、タルク、酸化
チタン、白糖、ジメチルポリシロキサン、二酸化ケイ素、カルナウバロウを含
有します。

◎保管及び取扱い上の注意

(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して
ください。

(2) 小児の手の届かない所に保管してください。

(3) 他の容器に入れ替えないでください。

(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)

(4) 使用期限をすぎた製品は、服用しないでください。



副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めの
お店又は下記にお願い申し上げます。
佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口
電話 03(5412)7393
受付時間：9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元
佐藤製薬株式会社
東京都港区元赤坂1丁目5番27号